

授業概要

現代世界では、宗教を学ぶことによる異文化理解、他者とのかかわりが重要であると考えられています。特定の宗教への信仰を持っている人々も、そうでない人々も、日常生活のさまざまな場面で宗教的なものとかかわっています。この授業では、世界の宗教についての知識を身につけるだけでなく、宗教を研究する宗教学という学知を学ぶことを通じて、「いま、なぜ宗教を学ぶことが大切なのか」という問題について、みなさん自身が自分なりの答えを見つけ、表現することをめざしていきます。

この授業には「一神教世界とわたしたち」という副題がついています。一神教とはユダヤ教、キリスト教、イスラームという三つの宗教をさします。一神教世界の歴史と現在、そして豊かな文化を知ることは、現代社会を生きるうえでさまざまな示唆を与えてくれるはずでです。また、宗教についての考え方やアプローチを知るために、宗教学の理論や概念についても紹介していきます。具体的には、①宗教学の基本的な考え方、②三つの一神教の概説、③現代社会における一神教世界、という三つの主題で構成された講義をおこないます。授業への積極的な参加を通じて、宗教を学ぶことの意義をひとりひとりが発見していくことを求めています。

授業計画

第 1 回	宗教学とはなにか	宗教学という学問の基礎について学ぶ
第 2 回	一神教とはなにか	宗教への学術的なアプローチと「一神教」という概念について学ぶ
第 3 回	ユダヤ教①	聖書時代のユダヤ教の誕生からラビ・ユダヤ教の成立までを学ぶ
第 4 回	ユダヤ教②	現代の多様なユダヤ教を中世とのつながりにおいて学ぶ
第 5 回	キリスト教①	キリスト教の誕生から西方キリスト教世界の完成までを学ぶ
第 6 回	キリスト教②	近現代における「世界宗教」としてのキリスト教を学ぶ
第 7 回	イスラーム①	イスラームの成立と概要を学ぶ
第 8 回	イスラーム②	現代イスラーム世界の多様性を学ぶ
第 9 回	教典	宗教学の教典論と、三つの一神教の教典をめぐる諸テーマについて学ぶ
第 10 回	共同体	宗教学の共同体理論、一神教世界の宗教共同体とそのなかでの生活について学ぶ
第 11 回	聖地	宗教学における「聖地」の概念と、一神教世界のさまざまな聖地について学ぶ
第 12 回	回心	宗教学における回心研究と、現代世界における宗教復興について学ぶ
第 13 回	暴力	宗教学の暴力論を検討し、「宗教と暴力」というテーマについて学ぶ
第 14 回	共存	諸宗教の共存を実現するための取り組みについて、歴史・現代生活・教育の事例を学ぶ
第 15 回	まとめ：寛容	宗教的寛容についての古典的作品を読み、その意義について学ぶ
第 16 回	期末レポート	

到達目標

- ・宗教学の基本的な考え方や「一神教」の概念を説明できる。
- ・三つの一神教の概要を説明できる。
- ・宗教の学びを通じて、異文化理解や他者とのかかわりについて、自分の意見を表現できる。

履修上の注意

- ・授業全体の構成や評価方法については、初回に説明します。
 - ・講義は配布資料（プリント）とスライドをもちいておこないます。話を聞き、スライドを見るだけでは知識はなかなか定着しません。かならずノートを取ることを心がけてください。
 - ・各回の配布資料についてはオンライン上で入手できるようにします。やむをえず授業を欠席した場合は、そちらで入手してください。入手方法は授業内でお知らせします。
- *新型コロナウイルス感染の状況により、**授業計画**や**評価方法**を変更する可能性があります。

予習・復習

- ・図書案内、信頼できるウェブサイトの案内をしますので、積極的に活用しましょう。
- ・講義で使用したスライドも後日公開します。復習に役立ててください。

評価方法

- ・リアクションペーパー提出含む平常点（30%）、小テスト（20%）、期末レポート（50%）

テキスト

- ・教科書は指定しません。必要なテキストは配布資料に記載します。